

中西祐介

1979年東京生まれ

東京工芸大学芸術学部写真学科卒業

講談社写真部勤務を経て2005年よりアフロスポーツ所属

ドキュメント写真を専攻していた学生時代にボクシングの撮影を始めたことをきっかけにスポーツ写真の世界に入る。現在はオリンピック、世界選手権等のスポーツ取材に従事すると同時にドキュメンタリー制作にも取り組む。

またスタジオ経験を生かしたスタジオやロケーションでのスポーツ選手を起用した特撮、ドキュメンタリータッチの人物撮影も得意としている。

エディトリアル、コマーシャルともに撮影多数。

馬術競技は北京オリンピックから撮影をスタートし、日本馬術連盟のオフィシャル撮影も多い。

日本スポーツプレス協会会員 国際スポーツプレス協会会員



近著：

「いい写真」はどうすれば撮れるのか?～プロが機材やテクニック以前に考えること（技術評論社）好評発売中。（2016/3/29）